

令和7年度 シラバス

教 科	国語	学科・学年	生産科学科・食品デザイン科 第1学年	単位数	2単位	
		教 科 書	新編 言語文化（大修館書店）			
科 目	言語文化	副 教 材	なし			
科目の目標	(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
評価の観点	知識・技術【知】	思考・判断・表現【思】		主体的に学習に取り組む態度【主】		
趣 旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。		言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。		

学期	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			評価規準	評価方法
			知	思	主		
一学期	「言葉の森を育てよう」 「十二の『子』文字」 「ほどほどのデザイン」 「訓読のきまり」「格言」 「守株」	○筆者の考えを読み取り、言葉の役割を理解する。 ○漢字の読みと日本文化についての理解を深める。 ○日本文化の特色について考えを深める。 ○訓読のきまりを理解する。 ○「株を守る」の意味について、考えを深める。	○			・言葉に文化を支える働きがあることを理解している。 ○・漢字の読みの多様性について関心を深めようとしている。 ○・日本文化の特色について考えを深めようとしている。 ・訓読のきまりについて理解している。 ○・故事成語の理解を深めようとしている。	ペーパーテスト ノート ワークシート レポート 観察
二学期	「五十歩百歩」 「徒然草」 「枕草子」 「ことばは光」 「伊勢物語」 「平家物語」	○「五十歩百歩」の意味について考えを深める。 ○作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えを持つ。 ○場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 ○和歌に表れた心情を読み取り、和歌の役割を考える。 ○音読して文体の特徴をとらえる。		○	○	・「読むこと」において、内容や構成、展開を的確にとらえている。 ○・「書くこと」において、表現したいことを明確にしている。 ・場面の様子や人物の心情を想像し、文章表現を味わっている。 ○・登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情を読み取ろうとしている。 ○・音読して文体の特徴を味わい、人物の心情の変化を読み取ろうとしている。	ペーパーテスト ノート ワークシート レポート 観察
三学期	「羅生門」 「借虎威」 「更級日記」 「論語」	○構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ○教訓の意義を理解する。 ○当時、物語や書物がどのように享受されていたか考える。 ○孔子の考え方を理解する		○	○	・「読むこと」において、構成や展開、表現について評価している。 ○・「読むこと」において、内容や構成、展開を的確にとらえている。 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○・「読むこと」において、ものの見方、感じ方、考え方を深めている。	ペーパーテスト ノート ワークシート レポート 観察